

月刊



平成24年3月1日発行 通巻194号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・東日本大震災支援事業及び
義援金のご報告 …………… 2
- ・創立60周年記念事業
物故者慰霊祭のご案内
- ・第3回「未来の家」「未来のまち」
子ども立体作品展
第5回「建築士の日」フェス
ティバル 事業報告 …………… 3
- ・「地域型住宅ブランド化事業」
の活用について
- ・青年委員会 米原市立大原小学校
5年生総合学習事業 …………… 4
- ・近畿あーきてくと2012
地域実践活動発表会報告 …… 5
- ・DoシリーズNo61 国宝 姫路城
大天守保存修繕 見学研修 … 6
- ・女性委員会 DoシリーズNo60 民家
移築再生とプロセスを学ぶ … 7
- ・安藤忠雄講演会 in 近江八幡の
お知らせ …………… 8
- ・支部だより
大津支部
甲賀支部・湖東支部・彦根支部 … 9
- ・新入会員のご紹介
- ・がんばれ湖国の建築士 …………… 10
- ・3月の暦
- ・おうみ賢人



ふじ石亭（長浜市朝日町）

ふじ石亭は、もとは長浜の実業家である下郷久道氏が明治17～18年に別荘として建築したもので、その後、昭和17年にヤンマーの社主である山岡氏が購入、さらに平成17年に光亜興産株式会社が購入し、ふじ石亭と名付け、現在は料亭として活用されています。

特徴のある外塀の石垣は、富士山の岩石で造られ、山岡氏が3年かけて理想の庭として作ったとされています。

平成23年12月に開催された国の文化審議会において、ふじ石亭の歴史的建造物3件の登録有形文化財（建造物）に登録されました。（長浜市ホームページ参照）



おうみ賢人
（第6回）

東日本大震災支援事業及び義援金のご報告

総務企画委員会 委員長 杉江 文雄

当委員会では昨年の9月下旬に先遣隊を募り、被災地の現状を目の当たりにして建築士会の一員として行える支援事業を模索しながら下記の事業を計画しました。

①5月26日(土)の通常総会日には

“東日本大震災を教訓とした、滋賀の防災意識（災害に学ぶ）”シンポジウムを開催します。

現地での視察研修で得た情報を総会場で会員の皆様に報告し、視察で感じた事や被災地の実状を一人でも多くの方に伝え、3月11日に起こった震災を教訓としてこれからの滋賀の防災計画、我々の防災意識の向上に生かして行きたいと考えております。会員皆様のご参加をお待ちしております。尚詳細は後日ご案内いたします。

②“自然修景（植樹）事業”の実施

表記のシンポジウムには滋賀県社会福祉協議会（以下社協）の皆様にご協力頂き、パネラーとして参加いただく3名のボランティアの皆様も現地に行かれた方々です。

宮城県南三陸町には滋賀県からも延べ70名の社協の職員が派遣され現地の災害ボランティアセンターで現地の職員と連携しながらボランティア活動を運営支援されています。そんな中、南三陸町では、津波に流された役場庁舎の再建を計画、建設地を選定され、平成24年3月9日竣工をめざし、役場仮庁舎の準備をされておられます。大きな被害にあわれ、これまでの記憶のある景色や面影が失われた中で、将来に向かっての修景事業に参画するものです。

只まだまだ問題が山積し土地利用のルール造りの段階でして、植栽地等が決定されておきませんが、今回平成24年3月21日に南三陸町役場仮庁舎を訪れて南三陸町町長様に植樹事業費寄付金500,000円の日録をお渡しに伺います。



南三陸町地図

③“義援金”

会員の皆様より頂戴した義援金200,000円を東日本大震災の被災者の皆様に日本赤十字社を通じてお送りします。

④“見舞金”

本会では、平成23年9月の台風12号により大きな被害を受けられました奈良県及び和歌山県の各建築士会に其々200,000円のお見舞金をお送りします。

創立60周年記念事業 物故者慰霊祭のご案内

当士会60周年の長い歴史において、その折々に会務運営のためにひとかたならぬご尽力をいただいた役員の方々や、また会員として当士会発展のためにご協力いただいた方々への御霊の安らかならんことを祈念して、慰霊の行事を行います。また、昨年様々な天災、地震、津波、大豪雨で犠牲になられた方へ追悼の誠をささげます。皆様の御参加を、お待ちしております。

- 開催日 平成24年4月14日（土）
- 開催場所 比叡山延暦寺 阿弥陀堂
- 参加費 5,000円〈昼食代含〉【当日お持ちください。】

●行程

＝ バス移動 …… 徒歩移動

JR大津駅 裁判所前集合＝JR大津京駅 ターミナル＝《比叡山ドライブウェイ》＝阿弥陀堂……昼食〈延暦寺会館〉＝《比叡山ドライブウェイ》＝JR大津京駅＝JR大津駅解散

(10:00発) (10:10発) (14:50頃) (15:00頃)

- 募集人員 50名 *先着順
- 申込方法 下記申込欄に必要事項をご記入の上、(社)滋賀県建築士会事務局までFAXください。
- 申込締切 3月26日(月) *定員になり次第締め切ります

創立60周年記念事業 物故者慰霊祭のご案内

4月14日(土)

支部名	お名前	当日連絡先（携帯電話）	乗車希望場所
			大津駅・大津京駅
			大津駅・大津京駅

お申し込みはFAXにて…(社)滋賀県建築士会 事務局〈FAX.077-523-1602〉(お問い合わせは…TEL.077-522-1615)

第3回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展 第5回「建築士の日」フェスティバル 事業報告

去る2月4日・5日、イオンモール草津において、第3回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展、第5回「建築士の日」フェスティバルを行いました。

例年、《建築士の日》は7月、《子ども立体作品展》は2月に実施していましたが、相乗効果を狙い、今年は合同開催としました。4日土曜日の「建築士の日」フェスティバルでは、滋賀県・草津市・湖南広域消防局のご後援をいただき、1階レストラン街ホールにて、耐震診断・耐震改修の啓発、防災・火災予防の啓発、建築・住まいの相談会を行い、さらには高校生建築模型作品の展示をし、広く建築士の役割をアピールできました。また2階イオンホールでは、4日・5日の二日にわたり、子ども立体作品展を開催し、県内公立幼稚園28園、170点の作品を展示し、1850人余りの来場を数えました。

同日開催にしたことにより、より良い事業内容になったと思います。

この事業にかかわって頂いた皆様に感謝の意を表し、報告といたします。



建築甲子園表彰



「建築士の日」フェスティバル



「建築士の日」フェスティバル



防災指導車グラドン号



立体作品展



立体作品展表彰



高校生作品の展示

地域型住宅の普及・拡大に向けた 国交省「地域型住宅ブランド化事業」の活用について

国土交通省では、平成24年度住宅関連重点施策の一つとして「地域型住宅ブランド化事業」が提示されました。設計者、施工者等一定の要件を備えたグループの構成員が、地域材を活用しつつ、地域の気候・風土、景観等に適合した住宅（地域型住宅）を、「長期優良住宅」として、建設する場合に適用される助成事業です。

内容としては、地域材などを活用し、地域の気候・風土、景観等に適合する住宅（地域型住宅）の供給促進を目的に、中小工務店等一定の要件を備えたグループが供給する「長期優良住宅」について、建築費の一部を助成する制度です。

1戸当たり上限100万円が助成されます。地域材活用の場合には、更に、上限20万円が補助されます。現在、詳細に関しては整備中とのことですので確定した時点で、また報告させていただきます。

青年委員会は昨年11月4日(金)から全5回で米原市立大原小学校5年生を対象とした総合学習を開催しました。大原小学校は建て替えの際に、地元の間伐材を多く使用しています。今年度は「木の旅」をメインテーマに「建築の楽しさと環境の大切さ」を子供たちに知ってもらう学習を行いました。

● 第1回 平成23年11月4日(金)

～導入事業～

大原小学校を計画、設計された千葉薫氏に御協力頂き、木の学校が出来るまでの経緯をスライドを通して児童達にお話して頂きました。大原小学校に隠された秘密を知っていますか?校舎に使われた木はどこから来たのでしょうか?このような質問を児童に投げかけ、今後の学習への意欲を高めました。



● 第2回 平成23年11月8日(火)

協力 滋賀北部森林組合

～森できこり～

校舎に使われた木は近くの森で伐られたことを知り、みんなで森へ出かけました。森では杉と松の見分け方や明るい森と暗い森を実際に目で見ることができました。児童たちは「間伐体験」「木登り」「丸太切り」を実際に体験し森でどのような仕事をされているのかを学びました。この日の学習を通じて森を守るためには間伐が大切である事を学びました。



● 第3回 平成23年11月17日(木)

協力 鳥居木材(株)

～製材所見学～

森で伐られた木が運ばれる製材所に見学に行きました。製材所では原木を機械にかけ柱や板といった建材に加工される様子を見学し、又日本の木以外にも世界中から集まった多くの木があることを知りました。学校では「琵琶湖の森が泣いている」というDVDを鑑賞し、森はたくさんの生命を育み、人の生活を支え、空気や水をきれいにしてくれる力があることを学びました。



● 第4回 平成23年11月25日(金)

協力 滋賀北部森林組合

～森林組合見学～

第2回でお世話になった森林組合さんを再び訪問し、森を守ること、間伐の大切さを復習しました。山で伐った木がどのように運ばれ、どのように製材加工されているのかを話して頂きました。



間伐材を用いて作られた木のパズルを使い児童たちにパズル作りをしてもらったり、加工された木材を大工さんの手でさらに加工して家や学校を作っていることを知ってもらい大工さんの御指導のもと、カンナかけの体験をしました。まとめ学習では、今までの学習を振り返ったあと、間伐の大切さ、森のもつ力、木で造られた日本各地の建築物などを児童に問いかけながら大原小学校の隠された秘密……この校舎に関わった多くの人たちの「地球環境を守る」という思いを感じてもらうことができました。



5回の学習を通じて、児童たち皆さんが一生懸命に学習に取り組んで頂き、大変有意義な時間を共有することができました。私達委員にとっても、今後の仕事に活かせる事業になったと思います。最後に御協力頂きました鳥居木材(株)様、滋賀北部森林組合様本当にありがとうございました。

近畿あーきてくと2012 地域実践活動発表会報告

去る1月28日(土)に学校法人常翔学園(大阪工業大学)大阪センターにおいて第19回近畿あーきてくと2012 地域実践活動発表会が開催されました。

近畿二府四県から地域で「まちづくり」でご活躍されておられる建築士、学生、民間団体の方々をお招きしその内容、工夫、方針等をパワーポイントなどを利用し発表頂きました。

加えて今年からは各府県の建築士会青年の活動の紹介ビデオも流させて頂く試みも実施させて頂きました。

さらに昨年からは学生枠も追加され充実した発表会になりました。

各府県の発表内容はどれも地域に根差した活動内容が多く、また発表者の中からはヒントがあったとの声も聞かれ開催させて頂くにあたっての意義があったと感じました。

基調講演をして頂いた和歌山大学のシステム工学部教授の本多先生にも「自然発生的な建築物」～環境・まちづくり・人とのつながり～と題して講演して頂き有意義な時間を過ごすことができました。

各府県の建築士会青年の紹介ビデオでは普段知ることの出来ない他府県の活動内容がたくさんあり、我が滋賀県のこれからの活動にあたってのヒントがたくさんあったと思います。

ご参加頂いた皆様もこれからの活動に参考になったと思います。今後の活動で是非活かさせて頂ければ幸いです。足を運んで頂いた皆様ありがとうございました。





姫路城大天守は、築城から400年以上の歳月を重ねています。「昭和の大修理」から45年が経過した今、漆喰壁や上層部の軒、ひさしには傷みや汚れが目立つようになってきました。今回の保存修理では、工事用の素屋根・仮設構台を建設した後に、大天守の屋根瓦などの全面葺替えと、上部の外部大壁を解体し傷んだ軒裏・破風等の漆喰塗を修理します。また、一部解体調査を行い、構造的な確認をしながら構造補強を行っていきます。

今回は、兵庫県建築士会姫路支部のご協力により、姫路市担当者様の案内で天守閣の修理工事現場見学をさせていただきます。もちろん一般の見学施設である「天空の白鷺」も見学します。建築士会ならではの見学となりますので、多数のご参加をお待ちしています。

- 日 時：平成24年4月 日時は未定
(姫路市役所の関係上 平日となります)
- 集合場所：JR姫路駅
- 集合時間：11時30分
- 見学場所：姫路城大天守修理工事現場と見学施設「天空の白鷺」
- 募集人数：20名限定
- 会 費：会員／¥1,500— 会員外／¥2,500— (昼食費込)
- 申込締切：平成24年3月 未定
- 日 程：11:30 JR姫路駅集合
11:50～13:00 交流会 移動
13:30 姫路市担当者と合流。天守閣大修理工事現場見学
15:15 天空の白鷺見学
16:30 見学終了 自由行動
17:00 姫路城閉場 解散



姫路城大天守修理工事現場



天空の白鷺

DoシリーズNo.61 国宝 姫路城大天守保存修繕 見学研修

会員／会員外	お名前	連絡先 TEL (当日連絡用)
会員・会員外		

お申し込みはFAXにて…(社)滋賀県建築士会 事務局<FAX.077-523-1602> (お問い合わせは…TEL.077-522-1615)

2月12日 高島市の島村葎商店にて、「民家移築再生とプロセスを学ぶ」の勉強会を行いました。季節柄、雪模様が気でしたが、お天気にも恵まれました。参加者は会員12名、会員外6名の合計18名です。民家再生の設計を手掛けておられる木下龍一氏の講演を聞かせて頂き、会場となった、古民家を移築された島村邸の見学。見学の際には、葎葺き職人として古材と民家に深く関わってこられた島村葎商店前代表に案内して頂きました。その後、島村葎商店2号館・古良慕へ移動し、古材、古建具などを鑑賞しながらカフェタイム、フリーディスカッションとなりました。20年前の移築とは思えない程きれいな漆喰壁に感動でした。

木下龍一氏は、1976年、若狭街道沿いに建つ古民家の内部に入った時、柱と梁が織成す架構空間と、光の構成の美しさに感動し、それから民家の虜になられたそうです。再生された民家は地域の景観を育み、人々の心に安心を与え、郷土の風景を維持する貴重な役割を荷ってゆくものとおっしゃいます。また、民家再生行為の実践の中から、自然素材を巧みに造形してきた先人の伝統工法を身に付け、次代に継承してゆく事の重要さも力説されました。

本来は、現地再生が最も望まれるものですが、諸事情で現地再生出来ないものは、丁寧に解体^{ほどき}、縁が生まれるまで大事に保管されているとの事。その材が経てきた時間や係わった人々の思いも込めて、心を共に、次の継承者に託したいと…。

だから、縁が生まれ、移築再生される時は、「お嫁に行く」と言われるそうです。

また、「けやき、さくら、くりに古材無し。」と言われ、どんなに小さな木片でも、使い道はあるので、大事にとって置くようにとの事。

木下龍一氏、島村葎商店さんの古材に向き合う姿勢に感銘を受けました。

みなさんご存じでしたか？ 葎葺き屋根の棟に、草花が生えているのは、鳥が種を落としたのでは無く、棟飾りと言って、ちゃんと植えているのです。屋根の湿気を吸収してくれるそうです。

民家は、日本の風土と日本人の感性によって作られた日本の文化です。

先人の声を聞き、技を学び、次代にきちんと伝えて行く。そんな責務を改めて胸に刻んだ1日でした。

(M. K)



安藤忠雄講演会 in 近江八幡のお知らせ

「生き残りをかけて、まちづくりを考える」

- 日時：4月8日(日) 13:30 開場 14:00 開演
- 場所：近江八幡市文化会館大ホール
- 全席自由、チケット1,000円(税込) 発売中
- チケット販売所：

近江八幡市文化会館	☎0748-33-8111
安土文芸セミナーヨ	☎0748-46-6507
平和堂くらしのサービスセンター	
近江八幡店	☎0748-33-5166
ピバシティ平和堂	☎0749-27-5585
アルプラザ近江八幡	☎0748-31-2906
アルプラザ八日市	☎0748-24-5772
アルプラザ守山	☎077-581-1956
アルプラザ瀬田	☎077-543-4362

主催／近江八幡市文化会館
 後援／e-radio・BBCびわ湖放送
 協力／幻冬舎 月刊ゲーテ
 お問い合わせ／

近江八幡市政策推進課 ☎0748-36-5527
 近江八幡市文化会館 ☎0748-33-8111

建築家・東京大学名誉教授

安藤忠雄 講演会 in 近江八幡

『生き残りをかけて、まちづくりを考える』



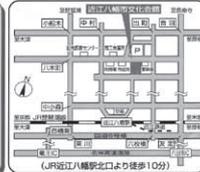
◆講師プロフィール
 大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。代表作に「六甲の集合住宅」、「光の教会」、「FABRICA(パストアートスクエア)」、「ビューリナー美術館」、「地中美術館」など。79年「自由の民衆」で日本建築学会賞受賞。国内外で数多くの賞を受賞。10年文化勲章受章。11年東日本大震災復興懇話会 議長代理。イェール、コロンビア、ハーバード大学の客員教授歴任。97年より東京大学教授、03年より名誉教授。

2012年
4月8日(日)
 13時30分開場 14時00分開演
 近江八幡市文化会館大ホール
 ご来場のお客様にもれなく
サイン本をプレゼント!!
 ＊全席自由 1,000円(税込)＊
 就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

2/19
 (日)
 発売開始

プレイガイド

○近江八幡市文化会館	☎0748-33-8111
○安土文芸セミナーヨ	☎0748-46-6507
○平和堂くらしのサービスセンター	
近江八幡店	☎0748-33-5166
ピバシティ平和堂	☎0749-27-5585
アルプラザ近江八幡	☎0748-31-2906
アルプラザ八日市	☎0748-24-5772
アルプラザ守山	☎077-581-1956
アルプラザ瀬田	☎077-543-4362



主催／近江八幡市文化会館 後援／e-radio・BBCびわ湖放送 協力／幻冬舎 月刊ゲーテ
 お問い合わせ：近江八幡市政策推進課 TEL0748-36-5527 近江八幡市文化会館 TEL0748-33-8111

支部だより

大津支部

近江八景でつながる琵琶湖の風景

～急がばまわれ瀬田の唐橋～

1月29日(日)に大津支部主催、湖南支部共催事業の「近江八景でつながる琵琶湖の風景～急がばまわれ 瀬田の唐橋～」を開催しました。

第1部として、午前8時30分に草津宿本陣にて出陣式を行い、その後徒歩チームと和船チームに分かれて大津宿本陣跡を目指して出発しました。

徒歩チームは、約14kmの道のりを瀬田の唐橋で新聞の取材を受けながら、途中、予定時刻を約30分遅れで進んでいましたが、何とか予定時刻の14時に大津宿本陣跡に到着する事ができました。徒歩チームの皆さん長い道のりをご苦労様でした。

和船チームは、約10kmの道のりをまず、徒歩で矢橋湊跡に向かいました。予定時刻を約15分遅れの10時に到着しました。そこで和船に乗り込んで石場の常夜灯付近を目指しました。天候も良く、船もエンジン付きなので予定より早く石場の常夜灯付近に到着し、再度徒歩で11時30分くらいに大津宿本陣跡に到着しました。

第2部のフォーラムは、一般の方の参加も含め83名のご参加のもと、基調講演で大津市歴史博物館の樋爪館長様に大津・草津に住んでいながら知らなかった事や楽しいお話をいただきました。その後パネルディスカッションで大津市都市計画部の寺田部

長様と草津市の田中政策監様に大津市と草津市の取り組みやまちづくり、また大津支部の千葉支部長に建築士会・建築士として、関われる事をお話いただきました。

大津市と草津市が連携し、建築士会・建築士も協力しより良いまちづくり、景観づくりを目指していかなければと感じました。

ご協力をいただきました大津市・草津市の職員の皆様、両支部役員の皆様、青年委員の皆さん、寒い中一日お疲れ様でした。

次回、機会があれば船は、手漕ぎでチャレンジしてみても、本当はどっちが早いのか検証したいと思います……?



甲賀支部

家族親睦ボーリング大会のご案内

早春の候 会員並びに賛助会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、甲賀支部の活動にご理解、ご協力を賜り感謝致します。

この度、家族親睦ボーリング大会を下記の日程で開催させていただきますので、多数のご参加をお待ちしております。なお、詳細案内及び申込用紙につきましては、後日送付させていただきますので、よろしくお願い致します。

記

日時：平成24年3月24日(土) 午後4時 スタート

場所：ボウル滋賀（湖南市）

地域と歴史的建造物

滋賀県の場合、他県に比べて名物が少ないとよく言われます。外に発信すべき事がまだまだたくさんあるのかも知れません。

田舎の片隅に人知れずたずむ甲賀町の油日神社は、白洲正子のかくれ里、大奥や平清盛等のロケ地で知られておりますが、インターネット等により情報が一人歩きし、地域住民の認識以上に知名度が高い状態です。これを利用した取り組み、地域造り、外部への発信が望まれますが、起爆剤としての方向性も定まらないのが現状のようです

同じようなケースが日本における滋賀県にも多々あるような気がします。地域の過疎化が進み、将来の住環境が見えない現在、今一度、歴史的建造物と全国に向けて地域の名物造りに目を向けてはどうでしょうか。



彦根支部

去る1月15日、16日の両日、名古屋方面に行きました。トヨタテクノロジーミュージアム産業技術記念館では、豊田佐吉が創設した豊田織機から世界を誇るトヨタ自動車までの歩みを一同に学ぶことができ、自分でも不便さを感じるにより画期的な装置の発明に発展させられるのでは?との思い込みに陥ってしまいました。



名古屋城本丸御殿は、1615年に完成され、徳川義直の住居、藩の政庁として使用されて来たものでしたが、残念なことに戦中焼失してしまいました。しかしながら図面等重要な資料が戦火を免れ残されていた事や現市長の強い力添えがあった事の諸条件が整っていたため今回の復元の実現に至ったそうです。総工費150億円、坪単価に換算するとなんと1200万円にもなる絢爛豪華な佇まいで、当時の建築技術と現代の高度な建築技術との融合はもとより、使用されている建築材料や彫刻欄間、障壁画も圧巻で、設定した見学時間をオーバーしてしまいました。総工費のうち3分の1は、地元の寄付だそうで、さすが「尾張名古屋は城で持つ。」とはよく言ったものだと思います。今回は、まだ第1期工事(玄関・表書院)中之口部屋の小屋組の段階で、第2期工事(対面所等)を経て第3期工事(上洛院等)の復元完了は2018年になりますが、当地より比較的近い位置の現場ですので工事期間中にも二度三度足を運べるのではないかと思います。建築を業とする我々にとって心苦しい出来事が多かった昨年を思い、今年こそは平穩無事に…という思いで豊川稲荷、熱田神宮にも参拝してきました。本年は、当会にとって「公益法人への移行」という新しい歴史の始まりでもあるのでひととき感無量の初詣となりました。



湖東支部

左義長祭り(近江八幡市)

近江八幡の左義長祭りは元来、安土城下で行われていたもので安土城落城後、豊臣秀次の八幡城下に移住してきた人々が安土で行われていた左義長祭りを八幡でも始めたことが起源とされています。

左義長は松明、ダシ、赤紙を一基にまとめ神輿のように担いで町内を練り歩きます。また、八幡神社の境内前では、各町のダシとダシとをぶつけ合うケンカも行われ大変盛り上がります。

ダシと呼ばれる飾りの部分は、毎年の干支にちなんだ物で干支の部分を「むし」と呼び、背景を「台」と呼び、この素材はすべて食物を使って作られています。

今年は3月17日・18日の土日で開催されます。ぜひ一度、ご覧になってください。



新入会員のご紹介

支部	氏名	住所
甲賀	谷澤 裕太	甲賀市
湖東	江原 俊行	近江八幡市
	大岡 将友	近江八幡市
	中川 祐樹	彦根市

平成24年2月理事会承認分

がんばれ湖国の建築士 No.2

東日本大震災被災地ボランティアに参加して想う

彦根支部 小杉 光史

昨年3月11日発生した東日本大震災、地震直後のテレビの映像は、農地を襲う津波の恐ろしさでした。

私は、震災直後から現地に行って何かをしたいとずっと思ってきましたが、その当時はボランティアの受入体制が整っておらず個人の参加が難しい状況でした。ゴールデンウィークに入り災害ボランティアの募集が始まった時、能登川まちづくり協議会の募集に応募したのですが定員超過のため参加できずあきらめていましたがその後の、県社協の災害ボランティアで6月に宮城県東松島市、能登川まちづくり協議会で8月と10月に宮城県気仙沼市大島に参加することができました。

東松島では、専業農業をやっておられるお宅の畑や庭のヘドロを回収したり、流れ着いたゴミの掃除を行いました。震災の時ご両親は旅行に行っていて難を逃れ、息子さんはブロック塀によじ登り胸まで海水につかりながら2時間近くみんなで励ましあいながら耐えたと話しておられました。そこのお父さんが「今度どっかで、もしこんな災害があったらわしもボランティアで行っちゃる」と言われていたことに勇気をもらいました。

大島では、8月と10月に2回寄せていただいたので、8月にお邪魔したお宅を再度訪問させていただくことができました。家の状況は8月に寄せてもらった時とあまり変わらず外部の建具もそのまま復旧が全く進んでいないことを知りました。でも、お母さんは元気で私たちの訪問を大変喜んでいただき、帰りはフェリー乗り場まで見送りに来ていただきました。

道路を挟んで風景は一変します。片や完全に潰された住まいがありその反対では何事も無かったように暮らす生活がある。そこには今まであったコミュニティも壊され近所付き合いもなんかごちなくなっている。

今回私は、建築士として現地に出向くのではなく、一人の地域で暮らす住民として何ができるか、何をしなくてはならないかを探したかった。

今一番大切なことは人々がこれからもずっと被災地の方々に寄り添い、いつまでも応援していることを伝えることです。旅行でいいです。メールでもいいです。少しでも、多くの方が東北に関心を持ち続けていただければ幸いです。



3月の暦

1	木	仏滅	総務企画委員会	11	日	友引		21	水	赤口	
2	金	大安		12	月	先負		22	木	先負	
3	土	赤口	あーき塾2012	13	火	仏滅		23	金	仏滅	青年委員会
4	日	先勝		14	水	大安	四役会 第2回臨時総会	24	土	大安	
5	月	友引						25	日	赤口	
6	火	先負	構築・連携特別委員会	15	木	赤口		26	月	先勝	四役会
7	水	仏滅		16	金	先勝		27	火	友引	
8	木	大安	第4期所属建築士定期講習 (ひこね燦ばれず)	17	土	友引		28	水	先負	
				18	日	先負		29	木	仏滅	
9	金	赤口	機関誌「家」特別委員会	19	月	仏滅	四役、委員長会議	30	金	大安	
10	土	先勝		20	火	大安	春分の日	31	土	赤口	

おうみ賢人 山岡孫吉・下郷久道

山岡孫吉 ヤンマー株式会社の創業者。石油発動機よりも経済的だが技術的ハードルの高かった小型高速ディーゼルエンジンの自社開発に成功。同社が開発し製造したディーゼルエンジンは全般的に信頼性および耐久性が非常に高い事で知られており、創業当初から「ものづくり精神」という概念を21世紀の今日まで頑なに守り続けている。(ウィキペディア参照)

下郷久道(二代目下郷伝平) 明治29年近江製糸の社長となり、全国有数の製糸会社にとぞで、長浜銀行頭取、長浜町長などもつとめる。福祉目的の下郷共済会の設立、図書館・美術館の開設、伊吹山高層気象観測所の建築寄付など、社会・文化事業につくした。(コトバンク参照)



下郷記念館
(長浜市朝日町)